

このページは @yagipy の職務経歴を紹介するページです。  
最終更新日: 2022/10/16

## 目次

- 基本情報
- 自己紹介
- 興味
- 職務経歴
  - からくり株式会社 (2019年4月 ~ 在職中)
  - 株式会社taliki (2018年6月 ~ 2019年3月)
  - 株式会社Hatty&Co. (2018年6月 ~ 2018年10月)
- 個人の活動
  - 登壇
  - OSS
  - OSS以外の個人プロジェクト
  - コミュニティ
- 各種リンク

## 基本情報

key	value
氏名	八木橋 拓之
氏名(フリガナ)	ヤギハシ ヒロユキ
生年月日	1998/10/19
性別	男
連絡先	<a href="mailto:yo@yagipy.me">yo@yagipy.me</a>

## 自己紹介

八木橋拓之(Hiroyuki YAGIHASHI)です。

バックエンドエンジニアとして、主にGo/Node.jsを使用したAPIサーバーやライブラリの開発、AWSを用いたインフラ構築を得意としています。

Reactを使用したWebクライアントの開発、Go/Node.jsの他にRailsを用いたAPIサーバー開発、Androidアプリ開発も実務経験があります。

直近の業務内容は、見積作成、設計、ベースコードの作成、会社単位で導入事例のない技術の検証と実装を行いつつ、他メンバーのサポートをするというのがメインになります。

サポートは主にレビューやペアプロ等を通して、設計意図の共有やメンバーが設計に沿った実装を行えるようにしています。

上記をWebフロントとバックエンド両方とも行っていました。2022/03くらいからWebフロントは全体のレビューをするのみになり、バックエンドを中心に行っています。

## 興味

より多くのユーザーや開発者が使用しているサービスやライブラリを書くことに興味があります。  
多くのユーザーが使用している際に起きる技術的な問題は情報が少なく、よりチャレンジングな問題に取り組める可能性が高いと考えています。  
担当領域の広さに比例してやる気が高まる傾向があります。  
幅広い領域を担当することで、より全体最適な意思決定を行える可能性が高まると考えています。  
新しい技術に触ることが好きです。  
新しい技術を使用することによって、今までは極めて大変だった実装が簡単に実装できることや開発者体験が良くなることが多く、そこに楽しみを感じています。

現在興味のある技術領域は下記になります。

- 分散システム
- コンパイラ(主にメモリ管理)
- Go
- Rust
- Web Assembly
- Web標準

## 職務経歴

からくり株式会社 (2019年4月 ~ 在職中)

▶ Details

株式会社taliki (2018年6月 ~ 2019年3月)

▶ Details

株式会社Hatty&Co. (2018年6月 ~ 2018年10月)

▶ Details

## 個人の活動

### 登壇

- What is Soft Memory Limit?@[Go 1.19 Release Party](#)
  - [登壇資料](#)
  - [ブログ記事](#)
- Building markdown editor using Rust's parser@[JS Conf JP 2021](#)
  - [登壇資料](#)
  - [ブログ記事](#)
- OSSに貢献した話と社内での取り組みについて@[技育祭2021](#)
  - [登壇資料](#)
  - [ブログ記事](#)
- 簡易的な推薦機能を実装する@社内LT
  - [登壇資料](#)
- Git/GitHub oneliner command@社内LT
  - [登壇資料](#)

### OSS

Owner - 私自身が作成し運用しているOSSになります

Maintainer - リポジトリに対するWrite権限を持っているOSSになります

Contributor - コントリビュートしたことがあるOSSになります(ここでは私自身が作成したPRがマージされたことのあるOSSに限定しています)

- Owner - [maintidx](#)
  - maintainability indexを計測するために作成した静的解析ツールです
  - GitHub Starを60以上獲得しています
  - 詳しくは[こちら](#)
- Owner - [chameleon editor](#)
  - HTML、スライド、マインドマップに描画可能なマークダウンエディタです
  - マークダウンパーサーはRustとwasmを使用しています
  - 詳しくは[こちら](#)
- Owner - [blog](#)
  - Next.js使用、TailwindCSS使用、PWA対応、AMP対応、OGP画像の自動生成等を行っています
  - 詳しくは[こちら](#)
- Maintainer - [golangci-lint](#)
  - Goの静的解析ツールをまとめて実行してくれるツールです
  - [maintidx](#)を追加する実装をしました
- Contributor - [go-gimei](#)
  - レースコンディションを回避する実装をしました
- Contributor - [Node.js](#)
  - fsPromise.writeFileのdata引数としてasync iteratorsをサポートする実装をしました
  - 詳しくは[こちら](#)
- Contributor - [DroidKaigi conference app 2021](#)
  - ダークモードの対応や軽微な修正を行いました

## OSS以外の個人プロジェクト

- [runlive](#)
  - 事業化を目指しており、現在ソースコードはプライベートで開発しています
  - 複数言語が実行可能なブレイグラウンドです
    - 現在はPythonのみサポートしています
  - WebRTCを使用したリアルタイムに変更が反映されるコラボレーション機能、wasmを使用したWeb完結でのソースコード実行機能、ソースコードのシェア機能があります
  - 今後はデプロイ機能やアカウント管理機能も追加する予定です

## コミュニティ

- トレーニー - [SecHack365](#)
  - [SecHack365](#)という、セキュリティイノベーター人材育成のためにNICTが主催しているプログラムに参加しています
  - 2022年度のトレーニーとして参加しています
  - RustとLLVMを使用して、プログラミング言語を作成しています
    - 所有権付き参照カウントという、特徴的なメモリ管理機能を実装しています
- Staff - [Go Conference](#)
  - [2022 Spring](#) から運営のお手伝いをしています

## 各種リンク

- [GitHub](#)
- [Twitter](#)
- [Blog](#)
- [SpeakerDeck](#)